

# 新採用職員紹介



放射線部

近藤 裕太

\*

今年4月より診療放射線技師として採用されました近藤裕太です。よろしくお祈りします。広島で4年間の大学生生活を終え、地元の高知に帰ってきました。趣味はお笑い番組を見ることや、スポーツをすることです。特技と言えるほどでもないですがモノマネをすることが好きです。小学校では剣道を、中学ではソフトボールを、高校ではバスケットボールを、大学では帰宅部の全国大会に出場したほどのスポーツマンです。

現在は一般撮影を主として、厳しくも楽しい職場で働いています。撮影に関して先輩方から注意されることが多々ありますが、どこがダメなのかを教えてください、日々成長していると実感でき、充実した生活を送っています。患者さんとの接遇は教科書や学校で習うことがなく、苦手意識もあるため先輩方を見て勉強しています。

今後は、みなさんから信頼される診療放射線技師を目指し、放射線部の一員として本院に貢献できるよう日々努力したいと思っています。もし、私を見かけたら気軽に声を掛けてください。「接遇」がんばります!



臨床工学部

山本 奈緒

\*

今年4月より臨床工学部で勤務させていただきます。よろしくお願いいたします山本奈緒と申します。

以前は他施設にて主に人工透析業務に従事しておりましたが、「もっと色々なことを勉強したい!」と心機一転、高知大学医学部附属病院で働かせていただくことになりました。

本院は高知県内で唯一の大学病院であり、様々な先進的治療が行われています。また、私自身、家族がお世話になったこともある身近な病院でもあります。そのような場所で働かせていただけることを本当に嬉しく、ありがたく思っています。

業務内容は、以前従事していた人工透析だけではなく、幅広いものとなりました。そのため、日常業務ですら、これまでの業務経験では分からないことが多々あります。しかし、周りの先輩方が気にかけて声をかけてくださるなど、いろいろな場面でサポートして頂いています。また自分自身で専門書を読むなど勉強し、少しでも早く患者さんのお役に立てるよう努力しています。

今は、以前は関わることのできなかった、人工透析以外の血液浄化などについて勉強しています。

分からないことばかりで、ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。



施設管理課

橋田 浩之

\*

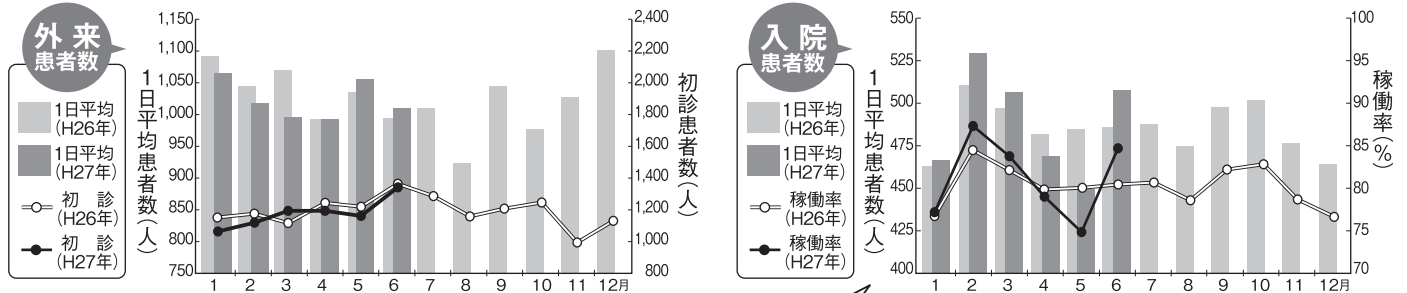
平成27年5月1日付けで高知大学に採用され、医学部・病院事務部施設管理課機械係に配属になりました橋田浩之です。担当させて頂いている主な業務は、岡豊キャンパス内の機械設備工事や保全関係の計画・設計・積算です。

学校・病院施設という大規模で安全性と快適性が重要視される環境で、新しい知識や経験の一つずつ吸収させて頂けるのは楽しいです。また、施設を使用する患者さん、学生さん、教職員の方々が快適に使用して頂けることを目指して、業務に取り組んでいます。

病院再開は平成23年度から始まり、30年度で終了予定です。昨年の11月に第二病棟が完成しました。現在、第2ステージを迎えています。計画全体で見ると、ちょうど折り返し地点から、私のスタートになります。まだまだ戸惑うこともありますが、自分に与えられた業務を一生懸命行い、転んでも立ち上がり、再開が終わるころには一人前に成長したいと思っています。

頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

## 診療状況



4月末の手術部移転の影響で昨年同月に比べて5月の1日平均患者数・稼働率ともに大きく減少したが、6月は大きく増加となった。

## 編集後記

今年は台風の出現ペースが5月時点で観測史上最も早く、大型の台風11号が安芸市付近に上陸するなど、台風の動きに目の離せない年になりそうです。さて、今回の病院ニュースでは、生理学講座の佐藤隆幸教授により開発され、産学一体となって製品化に成功した「血管可視化装置」の紹介をしています。高知大学で開発された装置によって、我が国の動脈穿刺成功率が改善されることと期待されます。次に、五大疾病の

一つであります糖尿病の療養指導について、本県での糖尿病療養指導士の地域での活動を、内分泌代謝・腎臓内科学講座の藤本新平教授からご紹介いただきました。第二病棟が新設され、病院の機能もますます充実してきておりますが、病院ニュースでも皆様からのご質問にそったタイムリーな病院情報誌を目指したいと考えておりますので、宜しくご意見をいただけますようお願い申し上げます。(文責:森信 繁)